

4 みどりの基本方針

第1節 みどりの将来像

「第5次泉南市総合計画」では、まちの将来像を『豊かな環境・支えあい、人を大切にする泉南市 みんなで夢を紡ぐ 生活創造都市』としています。これは、「第4次泉南市総合計画」がめざしてきた将来像を継承しつつ、人と人とのつながりに一層注力することを示す意味が込められた将来像です。

本計画では、この「第5次泉南市総合計画」の将来像をふまえて、みどりの将来像を以下の通りとします。

みどりが支え紡ぐ生活創造都市 せんなん

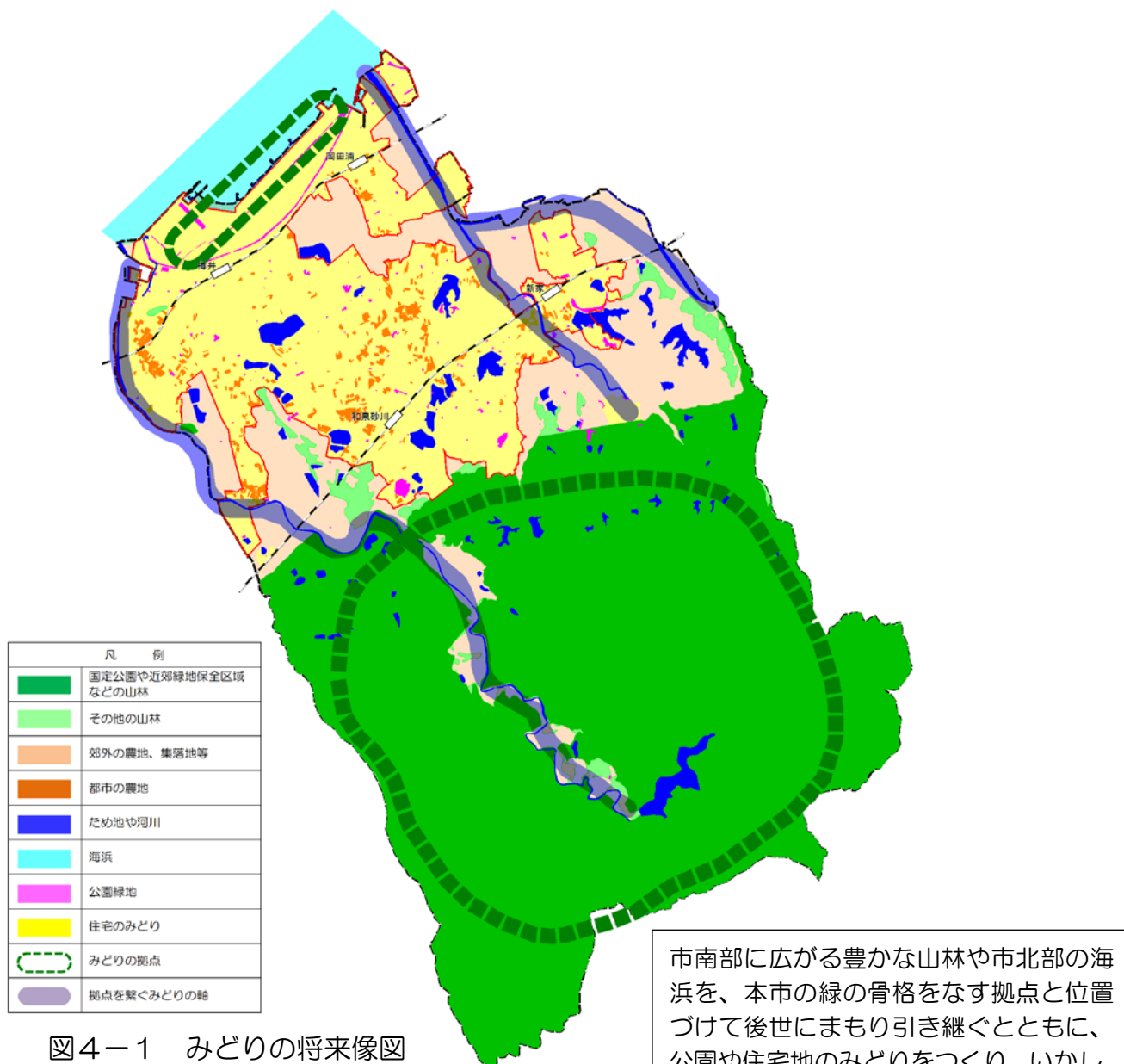


図4-1 みどりの将来像図

第2節 みどりの基本方針

みどりの課題や上位計画、みどりの将来像を踏まえ、みどりの基本方針を以下のように設定します。

いまある‘みどり’をまもる

保全

本市は、南側にたたずむ和泉山脈、北側に広がる大阪湾など豊かな自然環境に恵まれた都市です。これらの山や丘陵地、緑地、公園、河川などの市の骨格となっているみどりを保全・再生し、次世代に引き継いでいきます。

あらたな‘みどり’をつくり、いかす

創出
活用

本市は、自然環境に恵まれた都市ですが、市街地の中にはみどりが不足している地域もみられます。身近にみどりを感じることもできる市街地の実現のために、公園の適切配置や都市緑化を進めて新たなみどりを創出するとともに、公園の適切な維持管理や利活用に取り組めます。

みんなで‘みどり’をそだてる

育成

みどり豊かなまちの実現のためには、市民と事業者、市が、それぞれの役割を担いながら良好なパートナーシップを築くことが大切です。みどりを担う人材の育成や、みどりを学び、体験できるような取組を行い、みんなでみどりを育てていきます。

第3節 みどりの目標

1. 人口の将来見通し

「第5次泉南市総合計画」では、平成34年度（2022年度）の目標人口を66,000人としています。また、「泉南市都市計画マスタープラン」では、平成36年度の将来目標人口を、「第5次泉南市総合計画」に即して66,000人としています。

一方、「泉南市 まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」では、長期的展望として平成72年（2060年）に、55,000人の人口維持と人口構造の若返りを目指すとしています。

本計画では、「泉南市 まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」における長期的な人口展望に基づいて、計画目標年である平成41年（2029年）の人口の見通しを、おおむね62,000人とします。

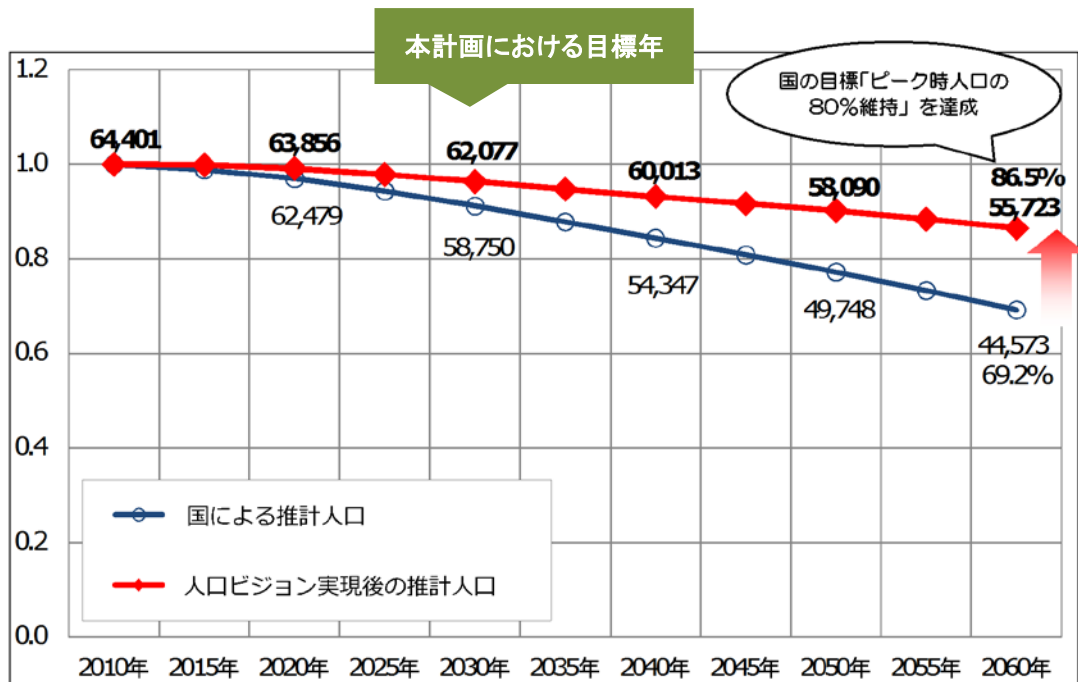


図4-2 泉南市 まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの人口見通し

資料：泉南市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

2. みどりの目標

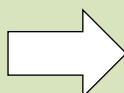
みどりの将来像の実現に向け、「いまある‘みどり’をまもる」「あらたな‘みどり’をつくり、いかす」「みんなで‘みどり’をそだてる」の基本方針に対応した、みどりの量や質を表す目標を以下のように設定します。

●「いまある‘みどり’をまもる」目標

将来的にも、現在と同じみどりの量を維持することを目標とします。

★市全体に対するみどりの割合

現在 約60%



10年後 約60%

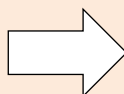
●「あらたな‘みどり’をつくり、いかす」目標

今後の人口動向をふまえて、一人当たりの都市公園の面積 $8 \text{ m}^2/\text{人}$ 以上を確保することを目標とします。（都市公園等は $12 \text{ m}^2/\text{人}$ 以上）

また、公園・緑地整備に対する満足度の向上を目標とします。

★一人当たり都市公園面積

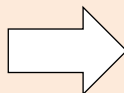
現在 約 $4 \text{ m}^2/\text{人}$



10年後 約 $8 \text{ m}^2/\text{人}$

★一人当たり都市公園等面積

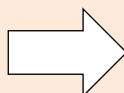
現在 約 $8 \text{ m}^2/\text{人}$



10年後 約 $12 \text{ m}^2/\text{人}$

★公園・緑地整備への満足度

現在 -5ポイント※



10年後 5ポイント

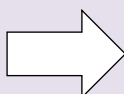
※「第5次泉南市総合計画にかかる市民意識調査（平成22年（2010年））」より

●「みんなで‘みどり’をそだてる」目標

地域の美化活動への参加希望割合を高めることを目標とします。

★地域の美化活動（公園、道路など公共スペースの清掃・美化活動など）への参加希望割合

現在 約30%※



10年後 約35%

※「泉南市まち・ひと・しごと創生総合戦略にかかる市民意識調査（平成27年（2015年））」より